

# 音楽科における言語活動の 基本的な考え方

文部科学省：言語活動の充実に関する指導事例集  
～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～ より

## 《小学校》

表現や鑑賞の活動において、音楽を特徴付けている要素や音楽の仕組みを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る学習や、感じ取ったことを基に、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもって音楽表現したり、音楽全体を味わって聴いたりする学習を充実する。

- 鑑賞の活動において、感じ取ったことを言葉で表すなどの活動を位置付け、楽曲や演奏の楽しさに気付いたり、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いたり理解したりする能力の育成を重視する。
- 合唱や合奏、グループによる音楽づくりの活動において、どのように表すかについて思いや意図を伝え合ったり、他者の考えに共感したりしながら、皆で一つの音楽をつくっていく指導を重視する。
- 歌唱表現において、歌詞の内容や言葉の特徴を生かして歌ったり、日本語のもつ美しさを味わったりするなど、言語と音楽との関係を大切にしたい指導を重視する。

## 《中学校》

音楽科においては、創意工夫して音楽表現をする能力や味わって聴く能力を育成する観点から、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、例えば、表現領域では、どのように音楽表現をしたいのかという思いや意図を言葉で表したり、鑑賞領域では、音楽を聴いて価値などを考え、批評したりする学習活動を充実する。

- 音によるコミュニケーションの充実を図るため、音楽に対するイメージ、思い、意図などを相互に伝え合う活動を位置付けて、仲間とともに創意工夫して音楽を表現する喜びを味わうようにしたり、鑑賞した音楽に対する様々な感じ取り方があることに気付いて一人一人の音楽に対する意識を広げたりする。
- 言葉と音楽との関係を重視する観点から、歌唱表現において、歌詞の内容や言葉の特徴を生かして歌ったり、日本語のもつ美しさを味わったりする学習活動を充実する。
- 鑑賞の能力を育むために、音楽的な特徴などを理由として挙げながら音楽のよさや美しさなどについて述べる活動を位置付けて、主体的、創造的に味わって聴くことができるようにする。